

## 中央公園の再整備

中央公園（大井町）をリニューアル。子育て世代を中心に、多世代が交流できる公園に生まれ変わります。子どもたちが安心して遊べる場とするため、複合遊具を設置します。親子で楽しめる親水ゾーンなどの設置、老朽化したトイレの改修、駐車場の整備も行います。

都市住宅課（内線 246）



SDGsを推進するため、市が行う事業をSDGsと関連付けて毎月紹介しています。 SDGs 推進室（内線 421）

### 目標 11 住み続けられるまちづくりを



ターゲットとは、目標の具体的な取り組みのこと

目標 11 には、7つのターゲットがあります

#### ターゲット 11.7

女性や子ども、高齢者、障がい者を含め、誰もが安全に利用できる緑地や公共スペースを提供する。

#### ポイント

中央公園は、上記のターゲット 11.7 の通り、子育て世代を中心に、多世代が利用できる公園として整備します。完成は来年3月の予定です。

他にも、以下のゴールに関連します。



## 根の上高原の 保古グランピング

手軽で豪華、ホテルのような  
アウトドア体験



▲テントとウッドデッキで1棟分だよ

澄んだ空気、緑あふれる自然。深呼吸が気持ちいいナ。みんなは、本紙特集ページを読んでくれたかな？ 早速エーナはオープンしたばかりのグランピング施設、根の上アウトドアパーク恵那「保古グランピング」に来てみたよ！

ここには10棟のドームテントがあつて、それぞれにバーベキュースペースがあるよ。夕食も朝食も付いているから、ホテルに泊まる感覚でキャンプが楽しめるね！

ドームテントの中はこんなにおしゃれ。SNS映え間違いなしだよ。ね！ ベッドや冷暖房、冷蔵庫もあつて、快適に過ごすことができるよ。

せっかく根の上高原に来たんだから、自然の中でアクティビティを楽しむのもいいね。トレッキングやボート、カヌーもできるんだって。

夜になると、ファイヤーピットに火が灯されるよ。ゆらゆら揺れる焚き火を眺めていると癒やされるよね！ エーナも疲れが取れた気がするナ。

市民限定の割引もあるから、みんなもぜひ、グランピングを体験してみてね！

観光交流課（内線389）



▲手前がソファー、奥がベッドだよ

## 恵那 くらしビジネス サポートセンター だより

Ena City Life Business Support Center

デジタル化 総合支援窓口を開設

課題抽出から事業計画の策定、補助金の申請、導入後のフォローまで、デジタル化を支援します。相談は無料です。まずは問い合わせてください。

デジタル化の重要性は理解しているものの、何から手を付けて良いのか分からない、誰に聞いたら良いのか分からない。そんな悩みを解決！

## 無料経営相談

「何をしたいか」「どうなりたいか」をしっかりと理解した上で最適なアドバイスができるよう、一緒に考えます。何度でも利用できますので、気軽に相談ください。

蟹江信幸 火 木 日 第2・第4  
県よろず支援拠点コーディネーター



事業再生、資金繰りなど  
事業再生支援のための経営改善計画策定や資金繰りなど、中小企業の課題解決を得意としている。

篠田里恵 火 第2・第4  
Office Mint 代表



IT活用  
通販サイトなどの制作経験を活かしウェブサイトやSNSを活用した売上拡大、個人創業のサポートを得意としている。

加藤久徳 金  
リリクス経営労務事務所代表



事業計画、業務改善、補助金  
経営労務の視点を生かし、新規事業の立ち上げから、補助金や助成金の活用、業務改善まで幅広く支援。

恵那くらしビジネスサポートセンター 恵那市大井町 206-5  
0573-26-2266（午前9時～午後5時・月曜定休） info@enalifebizsupport.jp



自治体名	登録している先人
恵那市	佐藤一斎（学者・教育者）、下田歌子（教育者・歌人）
岩手県釜石市	大島高任（鉱山学者・事業家）
山形県米沢市	上杉鷹山（米沢藩九代藩主）
神奈川県小田原市	二宮尊徳（農政家・思想家）
長野県長野市	佐久間象山（思想家・兵学者）
長野県木曾町	山村蘇門（学者代官）
揖斐郡大野町	所部太郎（幕末の志士）、竹中半兵衛（戦国武将）
愛知県東海市	細井平洲（教育者）
兵庫県養父市	池田草庵（儒学者）
大分県日田市	広瀬淡窓（教育者・漢詩人）
佐賀県多久市	多久茂文（多久四代領主）、志田林三郎（物理学者）
宮崎県高鍋町	秋月種茂（高鍋藩七代藩主）、石井十次（児童福祉の父）
沖縄県沖縄市	島マス（社会福祉の母）

恵那市は、ふるさとの先人の交流の場です。フォーラムに参加しているのは、全国13の市町。各市町の先人は、左表の通りです。

## 物知り先生の ふるさと情報

（佐藤一斎生誕250年）

## 嚶鳴フォーラムから学ぶ

NPO法人いわむら一斎塾  
鈴木隆一さん（岩村町）

各自自治体が持ち回りで開催しているこのフォーラムは、平成23年秋は釜石市で開催される予定でした。しかし、3月11日に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けたことから会場が東海市へ変更されました。そして11月、釜石市からのメッセージとして「いのちを守る生き方、考え方を学ぶ」のテーマの下、同市の担当者5人の中学生から、震災当日の様子や復興に向けての状況が生々しく報告されました。

このフォーラムで学び、話し合われたことは、それぞれの地域づくりや防災対策に生かされました。

広域連携ネットワークを強化するなど、災害時には相互支援を行うことが大切であることを学びました。



▲佐藤一斎銅像